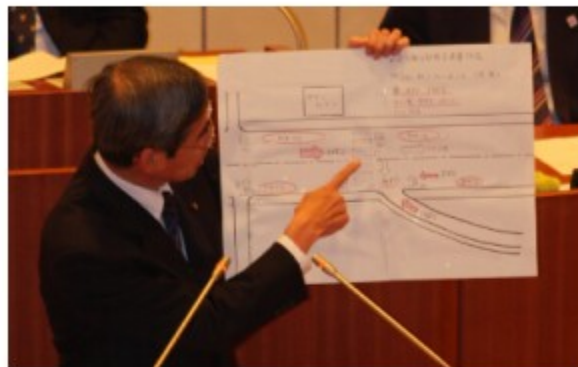


多摩川

日本共産党狛江市議会議員
鈴木えつおの市議会報告



発行：日本共産党狛江市議団 2012年1月
第88号 鈴木えつお議員の活動を紹介します。



交通量調査結果をパネルにして質問しました

和泉多摩川駅周辺の交通安全対策を
和泉多摩川駅南の道路に
ついて、朝の通勤時間帯に
車の交通量が多く、またセ
ブインレブ前前に駐車して
いる車で見通しが悪く、危
険を感じるという声が寄せ
られました。
そのため12月2日の午前
7時〜8時までの1時間、
交通量調査を行いました。

和泉多摩川駅周辺の交通安全対策を

その結果、通過した車は合
計598台。歩行者はセブ
インレブ前前の横断歩道を
渡った人が139人など合
計181人でした。周辺へ
の駐車は合計16台でした。
私は、これらを示し「駐
車違反をなくするための明確
な路面表示や取り締まりの
強化、また手押しの信号機

の設置など安全
対策を進めてほ
しい」と求めま
した。
建設環境部長は、「調査
内容をもとに安全対策を検
討し、駐車違反の取り締ま
りや信号機の設置など調布
署に申し入れる」と答えま
した。



私は「南北方向の信号の青
の時間を伸ばし、歩行者がこ
の交差点を渡るよう誘導した
り、路面表示などで車のスピー
ドを抑制する必要があるのだ
はないか」と提案しました。
建設環境部長は「信号機の
制御については調布警察署に要
望する。(市としても)お調
べいただいた交通量調査の結
果により、どのような対策が
有効か検討していく」と答え
ました。

学校、保育園、公園、道路など きめ細かく測定し除染を



放射能汚染対策の推進を求
めました(12月9日本会議)

在ビートルシー
トで飛散防止
している」と
答えました。
今回の測定
結果は、市内
にも相当の放
射性物質が降

私、鈴木えつおは、12月9日に放射能汚染対策につ
いて質問し、学校や保育園のきめ細かな測定や線量計
の貸出、原発からの撤退の働きかけなど求めました。

市内の落葉等でつくった堆肥から 許容値を超える放射性物質を検出

堆肥の汚染
重く受け止めている

東京都とJA中央会が実施
した調査で、市内で集められ
た落ち葉や剪定枝で作った堆
肥から暫定許容値を上回る4
10ベクレル/kg(許容値は
400ベクレル/kg)の放射
性物質が検出されました。
市民生活部長は「測定結果
を重く受け止めている。この
たい肥は使用されておらず現

他市の情報収集し
必要な対応していく

私は、東村山市の小学校の
で年間1 μ s v/hを超える2
15 μ s v/hが測定され、
8校12カ所の除染が実施され
たことなど紹介し、狛江市で
も学校、保育園、道路、公園
などきめ細かく測定するよう
求めました。市は「26市の状
況など情報収集に努め、必要
な対応をしていきたい」(教
育部長)など答えました。

放射線量計

市民に貸し出しを

私はまた、府中市や武蔵野
市では、線量計の貸出希望が
殺到していることを紹介し、

狛江市としても市民への貸出
を検討するよう求めました。
建設環境部長は「現在は一
般への貸出の予定はない。し
かし今後も、地域に根ざした
監視と測定を実施するように
努めたい。他市の状況も把握
していきたい」と答えました。

原発からの撤退 国に働きかけを

私は最後に、原発からの撤
退を国に働きかけるよう要望
しました。
矢野市長は「9月に新政権
が誕生し、その動向を見守っ
てきたが、現状追認の姿勢が
強まっている。原発からの段
階的・計画的な撤退と再生可
能エネルギー等への転換に向
けた努力は、いつそう求めら
れる。市長としての意見書提
出は、その目的達成に向け、
社会的効果等を勘案し検討し
ていく」と答えました。

放射線の測定活動を行っています。 希望される方はご連絡ください。



「自宅の放
射線がどうなっ
ているか不安
」狛江の放射
線は大丈夫ですか」などの
声をいただいています。
市も学校や公園等の放射
線量を測定し公表していま
すが、私、鈴木えつおも、
線量計を購入し自宅や駅前
など測っています。さまざま
な場所を測って地域全体

京王ストア周辺の交通安全対策

水道道路の京王ストア近く
の交差点の信号が、南北方向
に渡る時青の時間が短いと
いう声が寄せられ、12月2日
の午後4時〜5時、交通量調
査を行いました。
調査の結果、水道道路を走

る車など東西方向が南北方向
より1.6倍多く、信号の青
の時間も東西方向が南北方向
より1.6倍長くなっています。
ただ、ただ東西方向の大半が
車なのに対して、南北方向は
54%が歩行者と自転車でした。

狛江市史の編さん事業 狛江の歴史の魅力発信を

私、鈴木えつおは、12月9日の一般質問で、市史編さんと狛江の魅力の発信について質問しました。



1985年に刊行された現在の狛江市史（左）と武蔵野市が昨年発行し評判になった「子ども武蔵野市史」

教育部長「広く市民が読みやすく、ビジュアル的にも工夫を凝らした普及版を作成したい」

狛江市では来年度から2020年度の市制施行50周年をめぐって市史編さん事業が始まります。この間、発見された新しい資料をもとに現行市史（1985年刊行）の全面的改定を行うものです。

狛江市では来年度から2020年度の市制施行50周年をめぐって市史編さん事業が始まります。この間、発見された新しい資料をもとに現行市史（1985年刊行）の全面的改定を行うものです。

在野の研究者の成果も広くとりいれ

私は今回の質問で、現行の市史が分厚くつきにくく、読みやすさ、市民が読みやすいように、本編ともにもにわかりやすいデジタル版を求めました。

また、戦前多摩川べりにあった料亭「玉翠園」の歴史が展示されており、ここが戦時中は朝鮮人に対して天皇への忠誠を教育する施設として使用されたことが明らかにされています。この成果も市史に取り入れるべきと要望しました。

戦国時代は登戸も駒井の一部？



私は、今回初めて現行の狛江市史をほぼ読み切りました。その中でいろいろ知らなかったことが次々と出てきました。

戦国時代に小田原城主の北条氏康が家臣の所領などを調査した記録が残っていて、その中に駒井本郷、駒井登戸、駒井宿河原という地名が出てきており、市史では「当時多摩川の流れが今とかなり違い、「駒井」という地名は、市内の駒井を中心に登戸や宿河原を含んでいたのである」と述べています。

多摩川原で歌舞伎興行

また江戸後期、1819年正月、猪方村の名主・善次郎の父と、そこに居住していた平井董威という人が、5代目松本幸四郎や5代目岩井半四郎を招いて多摩川原で興行を行いました。これが大評判になり連日満員の盛況でした。しかし当時は幕府によって

こういう人集めは禁止されていて、最終日に代官の手代が踏み込んできて、松本幸四郎は逮捕され、岩井半四郎は駒井の民家に逃げ込み、木戸銭60両と役者の衣装130点を没収されました。平井董威は領内追放となりましたが、やがて老年のため駒井村で余生を送ることを許されました。

市史では、「平井董威の活躍は、文化・文政期の、この地域の経済的余力を何わせると同時に、そうした文化を支える農民たちの、より高い文化への強い希求を物語るものであった」と述べています。当時の様子を目に浮かぶように、郷土の歴史をもっと知りたいと思いました。

猪方3丁目で7世紀の古墳発掘



猪方3丁目の文化財発掘調査で7世紀半ばのものと思われる横穴式古墳が発掘されました（写真）。古墳は直徑22mほどで古墳の主体部は切石（直方体に削った石）を積んで作られた横穴式石室で、石室の床面及び壁面が極めて良好の状態で見えています。石室内部から鉄の鏃や金環などの副葬品、周溝から須恵器が出土しました。

市教委によると市内の古墳は、これまですべて5〜6世紀の竪穴式で、7世紀の横穴式は初めてであり、切石積みみの横穴式石室は多摩川流域でも大変貴重とのこと。



3月の大震災では防災行政無線が聞こえないという声が多数寄せられました。そのため日本共産党市議会はこの間、防災行政無線の増設や携帯電話の増設やシステムの導入を検討していることが明らかになりました。

防災行政無線の電話応答システム検討

3月の大震災では防災行政無線が聞こえないという声が多数寄せられました。そのため日本共産党市議会はこの間、防災行政無線の増設や携帯電話の増設やシステムの導入を検討していることが明らかになりました。